

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2023年2月22日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年2月22日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【協力企業による個人線量評価値の誤りについて】 協力企業が、作業員の放射線管理手帳更新手続きに伴い、中央登録センターに個人線量評価値のデータ照会を実施したところ、同センターへ報告した協力企業作業員の内18名分の当該データが、放射線管理手帳記載データと差異があると報告を受けた。 原因は、個人線量評価値を当社に報告する際に使用しているプログラムについて、必要に応じて手入力による修正を実施していたが、その修正が実施されていなかったことによるものと推定。 今後、データ修正、原因調査および再発防止対策を検討。</p>	G II	2月20日
2	<p>【6号機床ドレン化学廃液収集タンク(A)からの漏えいについて】 協力企業作業員が6号機床ドレン化学廃液収集タンク(A)の点検の際、タンク外観ににじみ跡を確認。 調査の結果、タンクにピンホール(極小径な穴)を確認。 タンク外周部に養生、およびタンク水位をピンホール位置より低い位置へ変更済み。 今後、当該タンクを使用しない運用について検討。</p>	G III	2月16日
3	<p>【雑固体廃棄物焼却設備の灰ドラム缶払出クレーン給電ケーブルキャリアの脱輪について】 委託運転員が、雑固体廃棄物焼却設備の灰ドラム缶払出クレーンが基準停止位置に戻らないことを確認。 現場を確認したところ、レールに沿って給電ケーブルを伸縮させる吊り下げ式のケーブルキャリア(※)の一部がレールから脱輪していることを確認。 今後、脱輪したケーブルキャリアを交換するとともに、複数あるケーブルキャリア同士がぶつかった時に脱輪に繋がるため、緩衝材を設けるなどの対策を検討。</p> <p>※ケーブルキャリア:ケーブル等をクレーンの動きに合わせて伸縮させる金具。</p>	G III	2月17日
4	<p>【事務本館2階休憩所エリア空調設備の冷媒漏えいについて】 当社社員が、事務本館2階休憩所エリア空調設備の室外機を確認したところ、弁から冷媒の漏えいを確認。 弁を増し締めし、漏えい量の抑制、および当該空調設備の使用を中止。 原因は、経年劣化と推定。 今後、当該弁を交換予定。 なお、冷媒漏えいについては、福島県相双地方振興局へ報告済み。</p>	G III	2月17日
5	<p>【廃棄準備中の除染装置用空気圧縮機からの冷媒漏えいについて】 協力企業作業員が、廃スラッジ施設用予備品倉庫に保管していた除染装置用空気圧縮機より冷媒回収をしたところ、想定より回収量が少なかったため、冷媒が漏えいしていたことを確認。 原因は、経年劣化と推定。 なお、冷媒漏えいについては、福島県相双地方振興局へ報告済み。</p>	G III	2月17日